

常務理事	事務長	課長	係

直接的必要経費申告書

保険証記号：_____ 番号：_____
被保険者氏名：_____印

扶養認定対象者 _____ の認定に伴う、(自営業者等の) 直接的必要経費の内容を以下の通り申告いたします。本申告内容に相違があった場合は、遡って被扶養者資格を取り消されても異存ございません。なお、認定後に、被扶養者の状況に変更があった場合は、速やかにご報告いたします。

(1) 事業内容 ※具体的に記載してください。

(2) 直接的必要経費の額

- ◆事業所と自宅が同一で、経費が混在している場合は、事業所負担分のみを「直接的必要経費」として年間総収入から控除します。「事業所負担分」と「自宅負担分」の額を記入し、それらを明らかに出来る書類(当該年の各月の元帳写しや領収書写し等及び按分計算書類)を添付してください。
 - ◆収支内訳書または青色申告決算書において事業所と自宅が別であることが明らかであり、経費が混在していない場合は、「事業所負担分」に記入してください。
- ※事業所負担分を明確に証明できない場合は、経費として認められません。

No.	経費科目	金額 (円)			内容 (詳細を記載)	認定可否 ※健保使用欄
		事業所負担分	自宅負担分	合計		
1	地代家賃					可 ・ 否
2	水道光熱費					可 ・ 否
3	通信費					可 ・ 否
4	修繕費					可 ・ 否

(3) 旅費交通費 ※直接的必要経費として申告する場合に、ご回答ください。

旅費交通費の中には、通勤に伴う経費が (☐含まれています ・ ☐含まれていません)
通勤に伴う経費の金額：_____円 ※事業所が自宅でない場合に自宅から事業所までの交通費を記載

(4) (2)、(3) 以外の直接的必要経費

No.	経費科目	金額 (円)	内訳 (詳細を記載)	認定可否 ※健保使用欄
1				可 ・ 否
2				可 ・ 否
3				可 ・ 否
4				可 ・ 否
5				可 ・ 否

※自己申告する経費科目については、必ず直接的必要経費部分の証憑書類(元帳写しや領収書写し等)を添付し、表に対応する番号を記入してください。(提出がない場合は、直接的必要経費として認められません)
※事業内容や提出書類の内容によっては、さらに詳細を確認する場合があります。予めご容赦ください。

●添付する元帳写しや領収書写し等に品目や使用目的の記載がない場合は、必ず追記してください。

以上